

北と南の交流20年 香美市との絆さらに強く



高知県香美市との交流が始まり20年、姉妹都市盟約10周年を記念し、8月5日から7日にかけて当町から12人の訪問団員が香美市を訪れ、記念行事や土佐山田まつりへの参加などが行われました。

左から岩本議長、松井町長、門脇市長、西村議長。積丹町から贈呈された『宝島遠望』は、画家小林良男氏が生まれ育った美国町の特に好きな風景を描いた作品です。

12人が香美市を訪問

8月5日、高知県香美市と積丹町の姉妹都市盟約10周年記念行事が同市新庁舎で行われ、当町から松井町長、岩本町議会議長など12人が出席しました。

記念行事では、門脇香美市長が「絆は何年経っても消えない。さらに強く結ばれることを望みます。」と挨拶され、松井町長も「20年の交流の歩みは、多くの課題を乗り越えながら北と南の人々が育んできた。今後も交流を大切にし、末永いお付き合いを。」と交流への感謝と今後の期待を述べ、盟約10年の記念として、積丹町美国出身の画家小林良男氏(千葉県在住)が描いた絵画『宝島遠望』を同市へ贈呈しました。

土佐山田まつり

息の合った演舞を披露

翌6日には、第43回土佐山田まつりが開催され、9チーム460人の踊り子が躍動しました。積丹町の踊り子7人も加えた総勢34人のヤーレンソーラン積丹町&香美市チームは、息の合

った演舞を披露し、沿道からひととき大きな声援と拍手が送られていました。



また、松井町長は、踊りの審査員や、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会のプレゼンターとして、お祭りに参加。積丹町の特産品詰め合わせを提供するなど、香美市の皆さんと交流を深めました。

踊り子として初めて同市を訪問した金子仁美さん(野塚町)は、「暑くて大変でしたが、香美市みなさんと和気あいあいと楽しく踊れました。貴重な経験をさせていただきました。」と話していました。

町議も市内全域を視察

香美市は、平成18年3月に土

佐山田町、香北町、物部村の2町1村が合併し誕生しました。訪問した岩本町議会議長、佐藤晃議員、海田議員の3名は、旧土佐山田町に今年3月、免震構造の防災対策を施し新たに建設された市庁舎を視察したほか、同市農業委員会の会長で高知県特産の「やつこねぎ」を栽培する原心一さんの農場(「写真左」)や漫画家やなせたかし氏の出身地、旧香北町のアンパンマンミュージアム、林業と日本一のゆずの産地として知られる旧物部村では、山間の3戸ほどの集落を片道15分かけて深い渓谷を結ぶ生活交通用モノレールに体験乗車するなど、合併後の同市を視察しました。



交通事故死ゼロ

4,000日達成

後志第1位、全道第5位

積丹町内での交通事故死ゼロ

4、000日の記録が、7月29日
で達成し、(社)道交通安全推進
委員会から表彰状と盾を、道知
事から感謝状が贈られました。

8月2日の伝達式には、役場
会議室で福井町交通安全協会長
や川井町交通安全指導員会長の
ほか、町交通安全推進委員など
20人が出席。(社)道交通安全推進
委員会三田村栄幸事務局次長か
ら表彰状と記念の盾が、神後志
総合振興局長から道知事感謝状
が、それぞれ松井町長に伝達さ
れました。



—右・神後志総合振興局長—

松井

町長は、
「交通
事故の
危険性
が高い
行楽シ
ーズン
を迎え
ており、
これか
らも地
域一丸となつて交通安全の推進
に取り組みたい。」と謝意と決意
を述べました。



交通事故は、平成12年8
月15日、RV車が日司泊の橋の
欄干に追突、死亡した単独事故
から発生しておらず、全道では
第5位、後志管内では第1位の
記録となっています。

今後、地域をあげて交通安全
運動の推進に努め、交通事故死
ゼロの記録を途切れさせること
なく、安全で安心な町づくりを
目指しましょう。

交通事故死^{ゼロ}日数全道順位 (8月1日現在)

順位	市町村名	交通事故死 ^{ゼロ} 日数
1位	西興部村	6,027日
2位	陸別町	5,131日
3位	初山別村	4,638日
4位	沼田町	4,417日
5位	積丹町	4,003日

第61回 社会を明るくする運動北後志住民集会 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力

標語(高校生の部) 金賞

差し出そう 手を取りあえば みな笑顔

荒谷 司君 古平高校3年・来岸町

「社会を明るくする運動」の趣旨を地域住民の皆さんに広く理
解していただくため、8月9日、総合文化センターで、第61回社
会を明るくする運動北後志住民集会が行われました。

集会では、法務大臣や道知事のメッセージ披露、北後志管内の小・中・高校生
から応募された49点の標語・作文の入選者の表彰が行われたほか、優秀作文の発
表が行われ、参加者から大きな拍手が送られていました。

町内の生徒児童の入選作品は次のとおりです。

◆標語の部◆

小学生の部

銀賞 ありがとう みんなをつなぐ あいことば

佳作 思いやり なくてはならない おくりもの

吉田 美咲^{さん} 余別小2年

西川亜紗加^{さん} 美国小6年

中学生の部

銀賞 ありがとう 感謝の言葉 笑みになる

銅賞 あいさつは 待つのではなく 自分から

佳作 あいさつを 言って言われて 笑みこぼれ

佐々木仁実^{さん} 美国中1年

石田 直也^君 美国中3年

三國 恭平^君 美国中2年

高校生の部

金賞 差し出そう 手を取りあえば みな笑顔

佳作 話そうよ 一人でかかえ 込まないで

荒谷 司^君 古平高3年

伊藤明日香^{さん} 古平高3年

◆作文の部◆

小学生の部

銀賞 身近で大切な思いやり

銅賞 人への心づかい

野呂 大空^{さん} 美国小6年

西川亜紗加^{さん} 美国小6年

中学生の部

銀賞 若者と御老人 共に思いやれるまちへ

長島真太郎^君 美国中2年

